

## 目次

- 1 家長日記の伝本の再検討—書誌的問題及び諸本の関係性を中心に—  
太田克也
- 21 江戸時代における『三国志演義』受容の一様相  
—『三国志画伝』と『通俗三国志』の比較を中心に— 鵜浦恵
- 
- 75 彙報
- 2017年度藝文学会シンポジウム「物語の近代」
- 88 ディスカッション
- 96 19世紀のイギリス文学と『源氏物語』の融合——『不言不語』の世界  
堀啓子
- 108 『源氏物語』の近代——三つの視点から— 田坂憲二
- 116 英国では、近代はワイルドから始まる?! 河内恵子
- 134 奥野信太郎の北京留学体験 杉野元子
- 148 指示的意味と非指示的意味 西脇沙織
- 165 ルネサンスにおける学問の方法化—知識の「有用性」— 小池美穂
- 183 言語の彼岸—J.C.ラファーターの言語批判論的思考と観相学 森本康裕
- 198 衣服と皮膚—カフカ『乗客』『衣服』『拒絶』についての考察 寺田雄介
- 216 映画を見に行く普通の男—ドン・デリーロ「もの食わぬ人」と9.11  
富塚亮平
- 228 「聖なる教会の娘」の故郷?  
—チョーサーの『弁護士の話』におけるローマ表象— 杉山ゆき